

日本油化学会第 52 回年会

お知らせ ならびに 講演募集

日本油化学会第 52 回年会を、下記の日程で開催します。本年は、実行委員長講演、特別講演、シンポジウムや部会ランチョンシンポジウムを企画しています。本年会が、我が国のオレオサイエンスの更なる発展に貢献する有意義な会となりますよう、皆様のご参加をお待ちしております。Web ページ(<http://www.jocs52.org/>)に情報を随時更新いたしますので、ご参照頂ければ幸いです。

主催: 公益社団法人 日本油化学会

会期: 平成 25 年 9 月 3 日(火)~5 日(木)

会場: 東北大学川内北キャンパス(〒980-8576 仙台市青葉区川内 41)

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1003/>

懇親会: 9 月 4 日(水)18:30~ 川内の杜ダイニング(東北大学川内北キャンパス内)

一般講演主題 (口頭およびポスター)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1) 界面化学 | 2) 油脂・脂質化学 |
| 3) 食品化学 | 4) 生化学・バイオテクノロジー |
| 5) 分析化学 | 6) 有機化学・石油化学 |
| 7) 環境科学・資源化学 | 8) その他 |

口頭発表: 講演時間は発表 10 分・質疑応答 5 分となります。発表形態は OHC(オーバーヘッドカメラ)で行います。

ポスター発表: 掲示可能スペース 横 90cm×縦 160cm(予定)のポスターボードを用意いたします(プログラム編成の都合により一般講演とポスター発表を入れ替えていただく場合がありますので、予めご了承下さい)。ポスターは初日(9/3)の午後~最終日の午前中まで掲示していただきます(コアタイムは 9/4 の 10:30-11:50)。

ヤングフェロー賞:

一般講演(口頭発表・ポスター発表)を行われた若手研究者の中から、優れた発表を実行委員会で選考し、表彰いたします。副賞を贈呈いたしますので、若手研究者の方は奮ってご応募下さい。表彰は懇親会で行います。

応募資格: 平成 25 年 4 月 1 日時点で 35 歳以下であること。また、応募には本学会正会員 1 名の推薦者が必要です。表彰を懇親会で行いますので、懇親会の参加申込が必要です。

学生奨励賞:

一般講演(口頭発表・ポスター発表)を行われた学生の中から、優れた発表を実行委員会で選考し、表彰いたします。副賞を贈呈いたしますので、学生の方は奮ってご応募下さい。表彰は懇親会で行います。

応募資格: 平成 25 年 4 月 1 日時点で学生であること。また、応募には本学会正会員 1 名の推薦者が必要です。表彰を懇親会で行いますので、懇親会の参加申込が必要です。

<受賞講演>: 9 月 4 日(水)

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------|---------|
| 1) 学会賞: 界面活性剤の合成と機能解明に関する研究 | 京都工芸繊維大学工芸科学研究科 | 川瀬 徳三 氏 |
| 2) 進歩賞: 特異な構造を有する新規界面活性剤の合成と物性に関する研究 | 奈良女子大学研究院自然科学系 | 吉村 倫一 氏 |

<実行委員長講演>: 9 月 4 日(水)

演者: 宮澤 陽夫 氏 (東北大学大学院)

演題: 「油脂研究の魅力と奥深さ」

<特別講演>

・特別講演 1: 9 月 3 日(火)

演者: 伏木 亨 氏 (京都大学大学院)

演題: 「油脂の高度な嗜好性の科学」

・特別講演2: 9月4日(水)

演者: 及川 眞一 氏 (日本医科大学)

演題: 「糖と脂質の代謝連関」

・特別講演3: 9月5日(木)

演者: 岡本 亨 氏 (株式会社資生堂)

演題: 「化粧品製剤開発の現状と将来展望」

<市民公開講座>: 9月5日(木)

演者: 青山 敏明 氏 (日清オイリオグループ株式会社)

演題: 「油脂のおいしさと上手な使い方」

<シンポジウム>

・シンポジウム1 「医食からセラミドの謎に迫る～スフィンゴ脂質研究の新展開～»: 9月3日(火)

間 和彦 氏 (日本製粉株式会社)

「植物由来グルコシルセラミドを利用した機能性食品素材の開発」

原口 浩幸 氏 (株式会社ファスマック)

「炭素安定同位体測定 of セラミド研究への応用」

木下 幹朗 氏 (帯広畜産大学)

「スフィンゴ脂質の3次機能(生体調節機能)に関する最近の知見と課題」

菅原 達也 氏 (京都大学大学院)

「食品成分としてのスフィンゴ脂質の消化管吸収機構」

光武 進 氏 (北海道大学大学院)

「スフィンゴ脂質の生理機能を応用した創薬への試み」

岡崎 俊朗 氏 (金沢医科大学)

「SMS (スフィンゴミエリン合成酵素) による腫瘍細胞増殖と遊走の制御」

・シンポジウム2 「界面科学の化粧品・医薬品への展開»: 9月4日(水)

鈴木 亮 氏 (帝京大学)

「ナノ気泡を利用した新たな超音波診断・治療技術の構築」

酒井 俊郎 氏 (信州大学)

「サーファクタントフリーエマルジョン ～エマルジョンの本当の姿に迫る～」

坂本 一民 氏 (千葉科学大学)

「自然に学ぶリポソームの機能と構造に及ぼす曲率とサイズの関係」

中村 善貞 氏 (富士フイルム株式会社)

「写真フィルムの技術を、美しい肌作りのために」

・シンポジウム3 「脂質分析の新展開»: 9月4日(水)

板橋 豊 氏 (北海道大学大学院)

「³¹P-NMRによるリン脂質の分析」

都築 毅 氏 (東北大学大学院)

「LC/MS/MSを用いたステロール類の精密分析」

財満 信宏 氏 (近畿大学)

「イメージングマスマスペクトロメリー –質量分析で脂質を見る–」

遠藤 泰志 氏 (東京工科大学)

「テラヘルツ波分光分析の脂質分野への応用」

<部会シンポジウム>

・オレオマテリアル部会：シンポジウム：9月3日(火)

詳細は後日お知らせいたします

・オレオナノサイエンス部会：ランチョンシンポジウム：9月4日(水)

服部 勉 氏 (東北大学名誉教授)

「細菌表面電場の風景」

・オレオライフサイエンス部会・油脂産業技術部会：合同ランチョンシンポジウム：9月3日(火)

中原 剣 氏 (株式会社ネオモルガン研究所)

「微細藻類による有用脂質の生産」

・界面科学部会：ランチョンシンポジウム：9月4日(水)

詳細は後日お知らせいたします

・洗浄洗剤部会：ランチョンシンポジウム：9月3日(火)

詳細は後日お知らせいたします

・食品油脂機能構造部会：ランチョンシンポジウム：9月4日(水)

詳細は後日お知らせいたします

講演申込方法：

・Web ページ(<http://www.jocs52.org/>)をご参照下さい。

・Web フォームがご利用出来ない場合は、E-mail または郵送にて下記の内容を実行委員会事務局までお送り下さい。E-mail の表題は「講演申込」として下さい。

- 1) 発表言語 (日本語または英語) の別
- 2) 口頭発表・ポスター発表・どちらでもよい, の別
- 3) 希望の講演部門 (一般講演主題を参照して下さい)
- 4) 講演題目 (和文と英文両方)
- 5) 発表者氏名 (講演者に○)・ふりがな・ローマ字・所属・所属(英文)・油化学会会員番号
- 6) 講演概要 (和文 150 字以内, 英文 50 words 以内のいずれか)
- 7) キーワード (和文・英文それぞれ 10 個まで)
- 8) 申込者の氏名と連絡先(郵便番号・所在地・勤務先名・Tel/Fax 番号・E-mail アドレス)
- 9) ヤングフェロー賞応募の有無 (応募する場合は推薦者名)
- 10) 学生奨励賞応募の有無 (応募する場合は推薦者名)

講演申込先：

Web 申込： Web ページ(<http://www.jocs52.org/>)をご参照下さい。

E-mail 送付先： jocs2013@y-mail.tohoku-university.jp

郵 送 先： 〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1
東北大学大学院農学研究科 食品化学分野 内
日本油化学会第 52 回年会実行委員会
総務 都築 毅 宛

講演申込締切： 平成 25 年 6 月 14 日(金) 必着

要旨原稿締切： 平成 25 年 7 月 12 日(金) 必着

要旨原稿提出：

・Web ページ(<http://www.jocs52.org/>)をご参照下さい。PDF 形式で保存し、E-mail の添付書類にてお送り下さい。(作成要領および送付先等の詳細は下記もご参照ください)

参加予約締切：

平成 25 年 8 月 9 日(金) 必着 (Web ページ(<http://www.jocs52.org/>)をご参照下さい。)

・参加登録費

日本油化学会員	予約 9,000 円	当日 10,000 円
日本油化学会法人会員所属の非会員	予約 11,000 円	当日 14,000 円
協賛学協会の会員	予約 11,000 円	当日 14,000 円
学生	予約 3,000 円	当日 5,000 円
会員外	予約 15,000 円	当日 20,000 円

・懇親会費 (9 月 4 日)

学生	予約 3,000 円	当日 5,000 円
学生外	予約 9,000 円	当日 11,000 円

～ 講演申込書記入例(E-mail・郵送の場合)～

- 1) 日本語
- 2) 口頭発表
- 3) 食品化学
- 4) 和文:魚油の脂質代謝改善…
英文:Studies of…
- 5) ○東北 太郎/とうほく たろう/Tohoku Taro/東北大院/Tohoku University/会員番号:xxxx/青葉 次郎/あおば じろう/Aoba Jiro/東北オレオ(株)/Tohoku Oleo Corp./会員番号:yyyy ———
- 6) 魚油は脂質代謝を改善することが—— (150字以内)
- 7) 魚油・EPA・DHA——
Fish oil・EPA・DHA ——
- 8) 東北 太郎
〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 東北大学大学院農学研究科 食品化学分野
Tel:000-111-2222 内線 3333, Fax:333-444-5555 E-mail:tohoku@—————
- 9) ヤングフェロー賞に応募する(推薦者:東北 次郎/東北大院農/会員番号:zzzz)
- 10) 学生奨励賞に応募する(推薦者:東北 三郎/東北大院農/会員番号:yyyy)

注1 英数字は半角文字を使用してください。

注2 上付文字, 下付文字, イタリック体はHTMLの書式でお書き下さい。

例 上付文字: ¹³C → ¹³C ([…]で囲む)

下付文字: H₂O → H₂O (_…で囲む)

イタリック: <I>in situ</I> → *in situ* (<I>…</I>で囲む)

注3 ギリシャ文字・特殊文字(Åなど)は全角文字を使用してください。

※) 但し, 郵送の場合は注1~3を無視してご希望の文字スタイルでお書き下さい。

～ 年会講演要旨集原稿の作成要項 ～

(第52回年会では, 講演要旨をPDF形式にて受け付けます。ご協力をお願いします。)

- 1) 原稿はA4判上質紙1枚に縦長横書きで作成してください。
- 2) ワードソフト等を用いて, 黒字で鮮明に作成してください。
- 3) 上30mm, 下30mm, 左25mm, 右25mmの余白をとってください。
- 4) 文字サイズは10~12ポイントを使用し, 読みやすくお書きください。
- 5) 35-40字/行, 28-35行/頁になるように作成してください。
- 6) 1枚目の用紙左上に講演番号を記入するスペース(7文字×4行)を空けてください。
- 7) 第1行に和文表題, 1行空けて第2行に(所属)発表者氏名を記入してください。
- 8) 連名の場合は「・」(中点)で区切り, 所属が複数ある場合は所属と氏名に対応する右肩付き数字を付記して下さい。
また, 講演者の氏名の前に○印を付けてください。
- 9) (所属)発表者氏名から1行あけて, 英文概要 (50 words 以内)を11 pt Timesあるいはこれに準ずる半角文字で5行程度(ラインスペース15pt)で記入してください。
- 10) 本文は英文概要から1行おいて書き始め, 1. 緒言, 2. 実験, 3. 結果と考察など項目毎に分けて記載してください。
- 11) 作成した原稿をPDF形式に変換した後, メール(jocs2013@y-mail.tohoku-university.jp)に添付書類として送付してください。E-mailの表題は「要旨」としてください。お送り頂いた原稿をそのままオフセット印刷しますので, ご注意ください。
- 12) PDF形式で送ることができない方は, 印刷した原稿を下記まで3部郵送してください。なお, 締切日まで必着で送付願います。

(記入例)

The diagram shows a rectangular page layout with the following elements and dimensions:

- Title:** 魚油の脂質代謝改善... (1行あける)
- Authors:** (東北大院農¹, 東北オレオ(株)²) ○東北太郎¹・青葉次郎² (1行あける)
- Keywords:** Fish oil
- Abstract:** 英文概要を5行(50 words 以内)以内で記述 (11pt Times New Roman, ラインスペース15pt)
- Section 1:** 1. 目的 (followed by 4 dashed lines)
- Section 2:** 2. 方法 (followed by 4 dashed lines)
- Section 3:** 3. 結果 (followed by 4 dashed lines)
- Section 4:** 4. 考察 (followed by 4 dashed lines)

Dimensions:

- Top margin: 30mm
- Bottom margin: 30mm
- Left margin: 25mm
- Right margin: 25mm

Text boxes in the diagram:

- Top-left: 7文字×4行 空ける
- Abstract box: 英文概要を5行(50 words 以内)以内で記述 (11pt Times New Roman, ラインスペース15pt)
- Method box: 文字サイズ 10~12ポイント (30~40字×28~35行)

本年会に関するご意見・ご要望・またはご質問は下記までお問い合わせ下さい。

連絡先: 日本油化学会第52回年会実行委員会事務局

東北大学大学院農学研究科 内

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町 1-1

実行委員長 宮澤 陽夫 Tel 022-717-8904

総務 都築 毅 Tel 022-717-8799

E-mail: jocs2013@y-mail.tohoku-university.jp